

1. ラダーレベル I (新人)到達目標

【レベルの定義】基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践できる

看護実践能力

- A.ニーズをとらえる力: 助言を得て患者のニーズをとらえることができる
- B.ケアする力: 助言を得ながら、安全な看護実践できる
- C.協働する力: 関係者と情報共有ができる
- D.意思決定を支える力: 患者や周囲の人々の意向を知ることができる

組織役割遂行能力: 社会人力

- ①組織の一員として規律を守ることができる
- ②チームメンバーの役割を果たすことができる

研修日程、内容は変更になる可能性があります。
 研修開催予定日より1ヶ月前に「研修企画評価表」が届くので、その内容に従って研修受講してください。
 また、研修開催日には「研修」の勤務希望を入れるようにしてください。

[ラダーレベル I に到達するための研修]

分類	研修番号	研修名	目標レベル 対象者目安 必須・選択	開催日	開始	終了	研修のねらい	到達目標	主な研修内容	講師	主催
オリエンテーション	001	病院全体研修	レベル I : C①② 全新入職員 必須	4月1日(水)	8:30	17:15	1. 社会人としての基本的な心構えを習得し、伊那中央病院の役割を理解する 2. 伊那中央病院(伊那中央行政組合)職員として働くための心構えを習得し、給与・休暇・福利厚生等についての理解を深める 3. 職種間の交流を深め、多職種協働につなげる	当院で働くうえで必要な知識や態度について、各担当者から説明 院内オリエンタリング		別紙参照	総務課職員係
新入職員入職時研修	101	病院・看護部の概要	レベル I : 全て 新入看護職員 (新卒・既卒) 必須	4月中 11日間 詳細は別紙	日程の詳細は 別紙参照	病院・看護部の組織、機能を理解し、当院職員としての自覚をもつ	(1)病院・看護部の組織、機能が理解できる (2)当院職員としての自覚がもてる	病院・看護部の概要、看護職員の勤務規定、所属部署の発表など	看護部長		
		当院の継続教育について/eラーニング・シミュレーションセンター紹介				(1)看護部継続教育の仕組みが理解できる (2)レベルの到達目標と能力項目が理解できる (3)自主学習に活用できる院内設備やサービスを知ることができる	継続教育について、平成30年度教育計画、クリニカルラダーについてeラーニングの閲覧方法、シミュレーションセンターの紹介など	教育委員長			
		電子カルテ・Web21・CWSについて				(1)ネットワークシステムの概要がわかる (2)ログイン方法がわかる	電子カルテ、Web21、CWSの基本的な使い方と使用上の注意を説明	教育委員会			
		接遇・マナー・コミュニケーション				(1)基本的な接遇が意識でき、実践できる (2)看護職に必要なコミュニケーションについて理解し、実践できる	ナーシングスキル動画講義を使った講義とグループワーク	ナーシングスキル			
		☆感染対策				(1)感染対策の必要性がわかる (2)標準予防策の基本がわかる (3)感染経路別予防策の3つが言える (4)洗浄・消毒・滅菌の違いが言える (5)感染性廃棄物の分別が言える(バイオハザードマークの色分け) (6)鋭利器材の取り扱いができ事故時の対応が言える (7)業務における感染防止技術がわかる	到達目標に沿った講義および演習	感染管理認定看護師			
		☆医療安全				(1)医療安全の基本がわかる (2)急変・緊急時の対応がわかる (3)個人情報管理の重要性がわかる	医療安全の基本、緊急コール、個人情報保護についての講義	医療安全管理室長			
		看護倫理①				(1)看護倫理の基礎知識を身につける (2)看護者の倫理綱領を理解する (3)患者さんの権利について知る	看護倫理とは、看護者の倫理綱領、患者の権利について講義・グループワーク	看護部臨床倫理委員会			
		放射線・MRIに関する知識				(1)放射線検査やMRI検査について理解できる (2)実施の際の注意事項がわかる	放射線検査、MRI検査について、実施上の注意点などの講義	診療放射線科			
		臨床検査検体の取り扱いについて				(1)検体には数多くの種類があることを知る (2)検体バーコードの意味を知る (3)検体材料を適切に採取するための知識が持てる	検体検査の種類、バーコードに対する理解、採血順番の確認、検体の送付方法の確認などの講義	臨床検査科			
		薬剤に関する知識				(1)薬剤科の役割がわかる (2)間違えやすい薬がわかる (3)特殊な管理を必要とする薬剤があることを知る (4)一般的な処方箋・注射箋の読み方がわかる	①薬剤科の紹介 ②ヒヤリハットが起きやすい薬 ③特殊な管理を必要とする薬 ④処方箋・注射箋の基本的な読み方	薬剤部			
	102	シャドウ研修(2日間)	レベル I : 全て 新卒新人必須				看護師の仕事の一部始終をシャドウすることで実際の看護を体感し、職業人としてのイメージを持ち、職場の雰囲気をつかみアリティショックを少しでも軽減する	(1)実際の看護を見て学ぶことができる (2)配属部署の特徴を知ることができる (3)プリセプターや他のスタッフと交流を深めることができる	配属部署にてシャドウ研修		各部署新人教育担当
	103	配属部署研修(2日間)	レベル I ~ : 全て 既卒新人必須				配属部署で実際の看護を体験し、各自が自立して働くための課題を明確にする	(1)配属部署の特徴を知ることができる (2)必要な看護技術や知識を見出すことができる (3)自身の課題を見出すことができる	研修方法は、指導者をつけることを要件とし、詳細は各自の経験に応じて所属長と相談して決める		各部署既卒新人教育担当
入職時看護技術研修	104	摂食・嚥下ケア	レベル I : B 新卒新人必須 既卒新人選択			日常生活の中で観察できる嚥下障害を予防することで安全な援助方法を学ぶ	(1)誤嚥を起こすリスクの高い患者さんについて理解できる (2)安全な食事介助技術のポイントがわかる (3)口腔ケアのポイントがわかる	嚥下のメカニズム、摂食嚥下障害のアセスメント、摂食嚥下障害患者への対応など講義と演習	摂食・嚥下障害看護認定看護師		
		褥瘡ケア・ポジショニング				(1)褥瘡発生のメカニズム、予防方法を理解できる (2)ポジショニングの必要性と実践につながる技術を理解できる (3)オムツの正しい使用方法、装着方法を取得することができる	褥瘡発生のメカニズム、ポジショニング、オムツの使用法など講義と演習	皮膚・排泄ケア認定看護師			
		安全・安楽なトランスファーテクニックの基本を理解する				(1)トランスファー介助の基本が理解できる	車いす移乗の演習	理学療法士			
		EBNに基づいた看護技術を安全、確実に実施できるよう基本を学ぶ				(1)看護技術を実施するための基本的知識が理解できる (2)チェックリストに基づいた看護技術の手順を覚え、シミュレーターで実施できる	日常生活援助技術、侵襲のある医療行為のうち新人が習得すべき技術の演習	教育委員 プリセプター 他			
		患者の身体状態を観察し、正しい情報を得るための知識・技術を学ぶ				(1)バイタルサインの値が示す意味がわかる (2)正しい方法で観察や測定ができる (3)緊急性の高い異常の徴候が言える	患者の状態を正しく観察するための講義とシミュレーターを使用した演習	集中ケア認定看護師			
		「1年後の私」をイメージできるよう、自身の目標を確認する				(1)面談を通して1年後に目指す自分をイメージできる	個別面談(看護技術研修中に1人15分程度)	教育担当専従看護師			
	105	プリセプティの役割	レベル I : ①② 新卒新人必須			1.プリセプターシップについて理解し、プリセプティとしての役割を認識する 2.社会人基礎力について理解し、社会人としての自覚を得る	(1)当院のプリセプターシップについて理解できる (2)プリセプティとしての役割が理解できる (3)社会人、組織人と学生との違いが自覚できる(社会人基礎力について知る)	看護部教育基準および新人看護職員研修ガイドラインに沿った講義。社会人基礎力について考えるグループワーク	教育委員会		
1年後の自分		(1)1年後に目指す看護師像を明確化できる (2)新人が目指す看護師像を上司やプリセプターと共有できる				各自がイメージする1年後の自分を可視化する演習と、発表会	教育委員会				
栄養について		病院食が配膳されるまでのシステムと食事療法の重要性について学ぶ				(1)食事オーダーが出て、配膳されるまでの仕組みを理解できる (2)患者に合った治療食や食事形態を選択する必要性を理解できる	給食システムや病院食に関する講義	臨床栄養科			
	106	看護記録				看護記録の目的や書き方の基本を理解する	(1)看護記録の目的を理解する (2)当院の看護記録の基本的な書き方がイメージできる (3)自分が実際に看護記録を書けるようになるために、何をしたらよいか言える	看護記録に関する講義	記録委員会		
ME機器の取り扱い(輸液・シリンジポンプ)		EBNに基づいた安全なME機器の取扱いの基本を学ぶ				(1)医療機器を安全に使用するための基本が理解できる (2)輸液ポンプの安全な取扱いの基本が理解できる (3)シリンジポンプの安全な取扱いの基本が理解できる	医療機器の安全な取り扱いに関する講義、輸液・シリンジポンプ使用法の演習	臨床工学室			
	107	BLS	レベル I : A/B/C 新卒新人必須 既卒新人選択			医療従事者としての成人へのBLSを習得する	(1)一次救命処置の重要性が理解できる (2)BLSの一連の流れが理解できる (3)AEDの操作方法がわかり実施できる	BLS習得のための講義、演習	救急看護認定看護師 BLSインストラクター (各部署より派遣)		
足のケア(足浴)		6月以降で再調整				足のトラブル予防・改善を目的とした足浴方法について学ぶ	(1)足のケアの必要性を理解できる (2)足浴の方法と実施時のポイントがわかる	講義と足浴の演習	創傷ケアセンター		
		安全な経管栄養法				経管栄養法の基本と経管栄養中の看護について学ぶ	(1)経腸栄養法について理解できる (2)経鼻経管チューブ挿入方法を理解し実施できる・挿入後のケアが理解できる (3)胃瘻の管理、皮膚トラブルと対策、スキンケアについて理解できる (4)栄養剤投与時の管理、トラブル対策が理解できる	経管栄養法の基本と看護について講義と演習	摂食・嚥下障害看護認定看護師		

108	シミュレーション研修 複数患者の観察と確認		5月26日(火)	8:30	17:15	シミュレーション研修を通して「複数患者の観察と確認」について考える	(1)複数患者の状態を把握することができる (2)複数患者への朝の挨拶、状態や環境の確認ができる (3)デブリーフィングで発言することができる (4)デブリーフィングで他者の意見を聞くことができる	模擬病室を使用したシミュレーション研修	IMSCインストラクター
	※メンタルヘルス研修	レベル I : ①② 新卒既卒必須				ストレスマネジメントについて考え、新人同士の交流を通してリフレッシュする機会をもつ	(1)ストレスマネジメントについて考えることができる (2)グループワークを通して、リフレッシュできる	ストレスマネジメントに関する講義、グループワーク	臨床心理士
	看護必要度	新卒既卒必須				看護必要度について理解し、正しく評価する方法を学ぶ	(1)看護必要度の必要性が理解できる (2)評価項目が理解でき、正しく評価ができる	看護必要度、評価項目の講義、演習 問題で実際に評価する演習	看護必要度研修修了者
109	フィジカルアセスメント研修		6月18日(木)	8:30	16:15	患者の身体状態をアセスメントするための知識・技術を学ぶ	(1)フィジカルアセスメントの考え方が分かる (2)呼吸器系のフィジカルアセスメントを理解し実施できる(呼吸音を中心に) (3)脳神経系のフィジカルアセスメントを理解し実施できる(瞳孔中心に)	患者の状態を把握し適切に対処するための講義とシミュレーターを使用した演習	集中ケア認定看護師
	正しいテープの張り方・はがし方、スキンケア					皮膚に損傷を与えにくいテープの張り方、はがし方を学ぶ。スキンケアの基本を学ぶ	(1)テープ類による皮膚損傷について理解できる (2)皮膚に損傷を与えにくいテープの張り方・はがし方について理解し、実践できる (3)スキンケアの基本(保湿)の重要性を理解できる	正しいテープの貼り方、剥がし方、スキンケアの基本に関する講義と演習	皮膚・排泄ケア認定看護師
110	心電図(ベッドサイドモニター、十二誘導)	レベル I : A 新卒既卒必須	6月23日(火)	8:30	17:15	心電図の基本を学ぶ	(1)心電図の基本が理解できる (2)12誘導心電図について理解でき、とり方が理解できる (3)生体モデルを使用し、心電図の取り方を体験できる	ベッドサイドモニターと十二誘導心電図の基本を理解するための講義、演習	慢性心不全看護認定看護師
	抑制	抑制の基本を知り、適切に実施する必要性を学ぶ				(1)抑制とは何か分かる (2)適正な抑制実施の基準と手順が分かる (3)抑制時の看護が分かる	抑制に関わる基準、アセスメント、抑制の実践について講義、演習	リスクマネジメント委員会	
	シミュレーション研修 優先順位を考えた検温	シミュレーション研修を通して「優先順位を考えた検温」について考える				(1)複数患者の情報を把握することができる (2)各患者の状態に応じた検温を考えることができる (3)優先順位を考慮した検温を考えることができる (4)デブリーフィングで発言することができる (5)デブリーフィングで他者の意見を聞くことができる	模擬病室を使用したシミュレーション研修	IMSCインストラクター	
プリセプティ意見交換会(3か月)	レベル I : ①② 新卒既卒必須				入職してからの体験を新人同士で共有できる(自分が感じていること、成長したこと、困っている事など)	(1)自分が感じている嬉しかったことなどをみんなに伝えられる (2)今後の問題解決となるアドバイスがもらえる	ねらいに沿ったグループワーク	主任会プリセプティチーム 主任会 教育委員会	
111	特別な薬剤(麻薬等)の取り扱い、持参薬管理について		7月20日(月)	8:30	17:15	特に注意が必要な薬剤(麻薬等)の取り扱い方法を理解する 持参薬管理について理解する	(1)麻薬等の特別な運用が必要な薬剤を知ることができる (2)麻薬等の運用方法が理解できる (3)持参薬の管理方法が理解できる	麻薬等の運用方法、持参薬管理に関する講義	薬剤部
	シミュレーション研修 経管栄養中の看護	レベル I : B 新卒既卒必須 既卒既卒新人選択				経管栄養中の看護について考え、トラブル発生時の対応を学ぶ	(1)経管栄養中の看護について考えることができる (2)リーダーナースへの報告が行える (3)トラブル発生時の対応を考えられる (4)グループメンバーと相談してトラブル発生時の対応ができる	経管栄養中の看護について、グループワークとシミュレーション	IMSCインストラクター
	高齢者看護					入院が高齢者に及ぼす影響を理解し、生活援助の視点を学ぶ	(1)廃用症候群の概要と看護の視点を復習できる (2)入院が高齢者に及ぼす影響を知り、具体的な援助方法を考えることができる	高齢者看護に関する講義	脳卒中リハビリテーション認定看護師
	認知症高齢者の看護					認知症高齢者の基本を理解し、入院中の看護について学ぶ	(1)認知症の基礎知識が理解できる (2)入院中の認知症高齢者の特徴を理解できる (3)認知症高齢者への具体的な援助方法を考えることができる	認知症高齢者看護に関する講義	認知症看護認定看護師
輸血の取り扱い					輸血の取扱いについて理解する	(1)輸血剤の種類、保管について理解できる (2)輸血のリスク、副作用について理解できる (3)輸血実施の手順が理解できる	輸血剤	臨床検査科 教育委員会	
112	急変時の看護		8月12日(水)			臨床現場で起こる患者急変時の対応を学ぶ	(1)急変時の観察ポイントが理解できる (2)急変時の報告の仕方が理解できる (3)急変時の看護記録の書き方が理解できる	急変時に必要な、観察、報告、記録についての講義と演習	救急看護認定看護師
	シミュレーション研修 急性呼吸不全患者の看護	レベル I : A/B/C 新卒既卒必須 既卒既卒新人選択				シミュレーション研修を通して「急性呼吸不全患者の看護」について考える	(1)全身及び呼吸状態を評価することができる (2)呼吸のアセスメントができる (3)呼吸を安楽にするケアを考えることができる	シミュレーターを使用したシミュレーション研修	IMSCインストラクター
	当院のクリニカルパスについて					当院のクリニカルパスについて理解する	(1)クリニカルパスの目的が理解できる (2)クリニカルパスの用語の定義が理解できる (3)PDCAサイクルの必要性が理解できる (4)クリニカルパスの画面の見方がわかる (5)クリニカルパスの評価の方法がわかる	到達目標に沿った講義および演習	パス専任看護師
	医療安全研修(KYT)					新人が起こしやすいインシデント事例を共有し、危険予知の感受性を高める	(1)KYTの手法が理解できる (2)グループ内で活発に発言できる (3)危険に対する対策が考えられる	KYT法に関する講義と事例を共有する演習	リスクマネジメント委員会
113	シミュレーション研修 多重課題	レベル I : A/B/②	9月4日(金)			シミュレーション研修を通して「多重課題」について考える	(1)多重課題への対応について考えることができる (2)優先順位のつけ方を考えることができる (3)自分なりの対応方法のヒトを見つけれられる	業務の優先順位を考えて動くためのシミュレーション研修	IMSCインストラクター
	夜勤交代勤務のセルフマネジメント					夜勤・交代勤務を充実させるためのセルフマネジメントを学ぶ(課題提出)	(1)自らの健康を維持する重要性がわかる (2)夜勤や交代勤務に関わる負担を軽減するための日常生活の工夫がわかる	夜勤・交代勤務に関するガイドライン、先輩への聞き取り調査に基づいたレポート作成	
プリセプティ意見交換会(6ヶ月)	レベル I : ①② 新卒既卒必須				半年の成長を振り返りお互いの思いを共有する 今後の課題・目標を明らかにする	(1)半年間で成長できたことの意味が共有できる (2)不安、困っていることが言葉にでき問題解決ができる (3)今後の目標が明らかになる (4)課題から、今後取り組みたいこと、目標などを紙に書き出しグループで共有できる	ねらいに沿ったグループワーク	主任会プリセプティチーム 主任会 教育委員会	
114	エンゼルケアとグリーフケア	レベル I : B/D 新卒既卒必須	10月5日(月)			エンゼルケアとグリーフケアの基本について学ぶ(eラーニング)	(1)エンゼルケア(エンゼルメイク)基本的な考え方・方法がわかる (2)グリーフケアの基本的な考え方・方法がわかる (3)家族の視点を理解し、医療者としてどのような対応をすべきかを考えることができる (4)当院の看護手順を確認できる	事前学習(eラーニングを使用したエンゼルケア、グリーフケアに関する講義)を踏まえたディスカッション	教育委員会
	メンバーシップ研修	レベル I : D/② 新卒既卒必須							チームにおけるメンバーシップの重要性を理解し、自己の役割を認識する
115	ME機器の取り扱い(DC・人工呼吸器)人工呼吸器装着中の看護	レベル I : A/B/C/D 新卒既卒必須	11月12日(木)			1. 除細動器の安全な取扱いの基本を学ぶ 2. 人工呼吸器の取り扱いと装着中の看護について学ぶ	(1)除細動器を安全に取り扱うための基本が理解できる (2)人工呼吸器が安全に装着できる (3)人工呼吸器の設定の違いがわかる (4)人工呼吸器装着中の看護について考えることができる (5)人工呼吸療法の目的がわかる	DC、人工呼吸器を使用した講義と演習	臨床工学室 集中ケア認定看護師
116	個別面談	レベル I : ①② 新卒既卒必須	11月~1月			個別面談を通して、4月に立てた目標「1年後の私」を達成するために必要な課題を見出す	(1)これまでの自分を振り返り、これからの課題を見出すことができる	個別面談	教育担当専従看護師 看護部教育担当専従
117	訪問看護について	レベル I : A/B/C/D 新卒既卒必須	12月7日(月)			当院の訪問看護ステーションの役割と実際の活動について知る	(1)訪問看護ステーションの概要と役割が理解できる (2)訪問看護の実際をイメージできる	訪問看護ステーションに関する講義	訪問看護ステーション
	退院支援と退院調整について					当院における退院支援と退院調整での看護師の役割を学ぶ	(1)当院の退院支援と退院調整システムについて理解できる (2)退院支援における看護職の役割がわかる	退院支援と退院調整に関する講義	地域医療連携室
118	看護倫理②	レベル I : D 新卒既卒必須	令和3年 1月22日(金)			臨床の中の倫理的課題に気がつき、さまざまな立場の人の思いや価値観(大切にしたいこと)に目を向けながら、看護師としての自分の行動を考える	(1)提示された臨床事例の中に倫理的課題が含まれている事が分かる (2)自らの思いや価値観(大切にしたいこと)を言葉にできる (3)様々な立場に立って考え、患者・家族・他職種の思いや価値観に目を向けることができる (4)(2)、(3)を踏まえ、看護師として自分がとるべき行動とその理由を考えることができる	倫理的場面に関する事例検討	看護部臨床倫理委員会
	看護観							看護において自分が大切にしたいことを言葉にする	
119	プリセプティまとめ研修(11ヶ月)	レベル I : ①② 新卒既卒必須	令和3年 3月5日(金)	17:30	18:30	1年間の自分の成長できたことを振り返り、来年度の課題を見出すことができる	(1)成長できたことがレポートにまとめられる (2)来年度への課題を見出すことができる (3)1年間の思いを共有することができる	自身の成長について発表	主任会プリセプティチーム 主任会 教育委員会

【備考】

- ☆印は他部門の新人との合同研修。
- 既卒新人が目指すラダーレベルは、4月末を目途に所属長と相談して決定し、5月以降は各ラダーレベル到達に必要な研修を受講する。希望すればレベル I 向けの研修に参加することができる。
- 研修No.105・116「個別面談」は、教育担当専従看護師が新人と個別面談を行う。No.105は看護技術研修時間中に行う。No.116は勤務時間内の30分程度を予定し、日程は本人及びサポート主任と相談して決める。

2. ラダーレベルⅡ(1人前)到達目標

【レベルの定義】標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践できる

看護実践能力

- A.ニーズをとらえる力: 患者や状況(場)のニーズを自らとらえることができる
- B.ケアする力: 患者に応じた看護が実践できる
- C.協働する力: 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる
- D.意思決定を支える力: 患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる

組織役割遂行能力: 社会人

- ①メンバーシップを発揮し、チームを意識した行動ができる

ラダーレベルⅡ 到達のために必要な研修
必須研修受講

[ラダーレベルⅡに到達するための研修]

分類	研修番号	研修名	目標レベル 対象者目安 必須・選択	開催日程	開始	終了	研修のねらい	到達目標	主な研修内容	講師	担当
第1段階 (経験2年目程度)	201	フィジカルアセスメント研修	レベルⅡ:A,B 経験2年目 必須	7月9日(木)	9:30	11:30	患者の身体状態をアセスメントするための知識・技術を学ぶ	(1)必要な観察項目を正しい方法で観察できる (2)観察して得た情報を統合して患者の状態をアセスメントできる (3)患者の状態に合わせた対処方法がわかる (4)実勢んで活用するための自分の課題が言える	患者の状態を把握し適切に対処するための講義とシミュレーターを使用した演習	集中ケア認定看護師	教育委員会
	202	メンバーシップ研修①	レベルⅡ:C① 経験2年目 必須	10月21日(水)	14:00	16:00	日常業務の中(病棟、チーム、看護の場面など)でメンバーとしての役割を理解する	(1)メンバーシップが理解できる (2)メンバーシップを発揮するためにはどうしたらよいかわかる (3)チームのメンバーとして役割を果たすための方法を見出せる	メンバーシップを理解するための講義	外部講師 長野県看護大学	教育委員会
	203	看護過程	レベルⅡ:A,B,C,D 経験2年目 必須	9月28日(月)	9:30	11:30	事例を通して看護過程の展開について学び受け持ち看護師として患者を看護するための考え方を学ぶ	(1)看護過程の展開に必要な基礎知識を復習できる (2)患者情報を整理し関連図を描いて説明できる (3)看護上の問題点と優先順位を考慮することができる (4)看護目標を設定し看護計画を立案できる (5)実践で活用するための自分の課題が言える	事例を使ったグループワーク	主任会2年目チーム 教育委員会	主任会 教育委員会 (各部署のメンターおよび主任が課題支援)
	204	事例検討 【レポート課題あり】	レベルⅡ:全て 経験2年目 必須	令和3年 1月25日(月)	10:30	11:30	受け持ち看護師として関わった患者への看護を振り返り、自分の提供している看護における課題を見出す	(1)自分が取り組んだ事例をまとめることができる (2)看護上の問題点をあげる過程で、患者の全体像を把握しアセスメントできる (3)問題に対して看護介入ができる (4)グループワークを通じて自分が提供した看護について説明し、他者と意見交換できる (5)自分の看護観を言葉にすることができる	受け持ち患者との関わりを振り返り、自分の看護について考え、他者と共有する	主任会2年目チーム	
	205	他部署研修	レベルⅡ:全て 経験2年目 必須	11月	8:30	17:15	希望する病棟で学びたい看護・技術を経験する	(1)研修部署で学びたい内容が経験できる (2)研修病棟特有の看護が学べる	希望する他部署において看護実践を行う	研修部署の指導者	教育委員会
	206	看護実践研修 (1時間1ポイント)	レベルⅡ:全て 経験2年目 選択	回数等の 上限なし			看護実践能力向上を目指し最新の知識・技術を学ぶ	【認定要件】①または②を満たすもの ①教育計画のうち公開されている研修、「8. 選択できる研修」からレベルⅡ以上を対象の研修を選択し受講する ②ラダーレベルⅡ到達目標に沿った内容の院外研修を受講し、院内で伝達講習を行う	【認定方法】 院内研修は研修企画・評価表を提出。院外研修の場合は、所定の用紙に受講した研修の概要(案内チラシ等)と、伝達講習の報告を記載し、各部署の教育委員に提出。委員は所属長と共に確認し、認定する。		教育委員会 各所属長
第2段階 (経験3年目程度)	211-1	後輩育成(ブチプリ)研修① ※1	レベルⅡ:① 経験3年目 必須	6月29日(月)	10:30	11:30	ブチプリセプター(ブチプリ)の役割を理解し、後輩育成について考える	(1)ブチプリの役割がわかる (2)当院の新人教育体制を理解できる (3)後輩育成について考えることができる	新人教育に関わる知識や当院の教育体制に関する講義	主任会3年目チーム	主任会 教育委員会 (各部署のメンターおよび主任が課題支援)
	211-2	後輩育成(ブチプリ)研修② 【レポート課題あり】	レベルⅡ:① 経験3年目 必須	10月26日(月)	10:30	11:30	ブチプリ体験を通して、後輩育成における先輩看護師の役割を考える	(1)ブチプリ体験とインタビューでの学びをレポートにまとめることができる (2)学びを他者と共有することができる (3)後輩育成における先輩看護師の役割を考えることができる	【事前課題】 ①部署で新人指導を経験 ②部署での新人教育について新人、プリセプターにインタビュー ③レポート作成 【研修内容】グループワークで共有	主任会3年目チーム	
	212-1	リーダーシップ研修① ※2	レベルⅡ:C① 経験3年目 必須	8月28日(金)	13:30	16:30	日常の業務の中(病棟やチーム、看護の場面など)でリーダーシップをどう発揮するのか理解する	(1)リーダーシップとは何かを理解できる (2)リーダーシップを発揮するにはどうしたらよいか分かる (3)リーダーシップを発揮するための方法が見いだせる	リーダーシップを理解するための講義、グループワーク	外部講師 長野県看護大学	教育委員会 (各部署のメンターおよび主任が課題支援)
	212-2	リーダーシップ研修② 【レポート課題あり】	レベルⅡ:C① 経験3年目 必須	12月16日(水)	13:30	15:00	日々リーダーの業務体験を通して学んだことを振り返り、自身の課題を見出す	(1)グループワークで自己の振り返りができる (2)グループワークで他者の意見を聞き参考にできる (3)自分の目指すリーダー像をイメージできる (4)自身の課題を見出すことができる	自部署で日々リーダーを経験(シャドウまたは体験)し、そこからの学びをレポートにまとめる。グループワークで理想のリーダー像と自身の今後の課題を見つける	外部講師 長野県看護大学	
	213	看護実践研修 (1時間1ポイント)	レベルⅡ:全て 経験3年目 選択	回数等の 上限なし			看護実践能力向上を目指し最新の知識・技術を学ぶ	【認定要件】①または②を満たすもの ①教育計画のうち公開されている研修、「8. 選択できる研修」からレベルⅡ以上を対象の研修を選択し受講する ②ラダーレベルⅡ到達目標に沿った内容の院外研修を受講し、院内で伝達講習を行う	【認定方法】 院内研修は研修企画・評価表を提出。院外研修の場合は、所定の用紙に受講した研修の概要(案内チラシ等)と、伝達講習の報告を記載し、各部署の教育委員に提出。委員は所属長と共に確認し、認定する。ただし、休み・費用ともに自己負担で受講したものは、伝達講習は不要とする。		教育委員会 各所属長
プリセプター 予定者	221	プリセプター準備研修	レベルⅡ~:① 2021年度プリセプター予定者 必須	3月	9:30	17:15	指導者としての教育的な関わり方を学ぶ。プリセプターとしての役割を理解し、新人看護師に効果的な関わりを行うための準備をする。	(1)プリセプターの役割が理解できる (2)新人指導における効果的なコミュニケーションスキルが理解できる (3)自分のコミュニケーションの特徴や課題が明確になる (4)当院のプリセプターシップが理解できる (5)プリセプターとしての心構えができる	プリセプターシップについて理解するための講義 OJTで役立つスキルの演習 看護技術インストラクターの準備	外部講師 長野県看護大学 主任会プリセプター チーム	主任会 教育委員会

【備考】

※1 研修No.211では、1回目と2回目の間に、3回程度研修受講者が新人教育体験として日々の指導者を行う機会を設ける。日程調整等は各部署の主任がサポートする。

※2 研修No.212では、各部署でリーダーシップを発揮して活動し、レポートをまとめる課題あり。課題達成に向けて各部署の教育委員と各部署の主任が中心になって支援する。

3. ラダーレベルⅢ(中堅)到達目標

【レベルの定義】患者に合う個別的な看護が実践できる

看護実践能力

- A.ニーズをとらえる力: 患者や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえることができる
- B.ケアする力: 患者や状況(場)の特性をふまえた看護が実践できる
- C.協働する力: 患者・家族、多職種と連携を図ることができる
- D.意思決定を支える力: 患者や周囲の人々に意思決定に必要な状況提供や場の設定ができる

組織役割遂行能力: 社会人力

- ①リーダーシップを発揮し、チーム全体の状況をとらえて行動できる
- ②後輩育成に携わることができる

ラダーレベルⅢ到達のために必要な研修
プリセプター: 必須研修受講+プリセプターの役割遂行
看護研究: 必須研修受講+文献研究論文提出+部署内発表
それ以外: 必須研修受講(研修受講で10ポイント取得を目指す)
 ポイント換算方法…1時間ごとに1ポイント、端数切り上げ
 例えば、30分なら1ポイント1時間30分なら2ポイント

分類	研修番号	研修名	目標レベル 対象者目安 必須・選択	開催日程	開始	終了	研修のねらい	到達目標	主な研修内容	講師	担当
プリセプター研修	311	新人看護技術演習 インストラクター (4ポイント)	レベルⅢ:B② プリセプター 必須	4月の看護技術演習のうち1回			看護技術インストラクターを行うことで、看護技術の基本を確認し、指導方法を学ぶ	(1)看護技術の基本を再確認できる (2)基本的知識、根拠に基づいた指導ができる (3)新人の反応を見ながら指導ができる	新人看護職の看護技術演習インストラクター	主任会プリセプターチーム 教育委員会	主任会 教育委員会
	312	プリセプター研修1回目 (2ポイント)	レベルⅢ:② プリセプター 必須	7月3日(金)	10:30	11:30	プリセプティ指導の現状を振り返り、他者と共有することで今後の指導のヒントを得る	(1)プリセプターとして実践してきたことを振り返ることができる (2)経験を他者と共有できる (3)今後の指導のヒントを得る	意見交換	主任会プリセプターチーム	主任会 教育委員会
	313	プリセプター研修2回目 (2ポイント)	レベルⅢ:② プリセプター 必須	10月2日(金)	10:30	11:30	コミュニケーションスキルを体験し、プリセプティ指導における悩みや問題点に対して、解決の糸口を見出す	(1)プリセプティ指導に役立つコミュニケーションスキルが体験できる (3)プリセプターとして今まで実践してきたことを振り返ることができる	プリセプティ自慢大会	主任会プリセプターチーム	
	314	プリセプターまとめ研修 (2ポイント)	レベルⅢ:② プリセプター 必須	令和3年 3月12日(金)	17:30	18:30	1年間の新人育成を通して自己成長や学びを認識できる	(1)自己の成長・学びに自ら気づくことができる (2)他者の意見から成長に気づくことができる	スピーチ他	主任会プリセプターチーム	
看護研究	321-1	看護研究の基礎	レベルⅢ:B 看護研究 必須 (定員15名)※1 部署1名まで	6月26日(金)	13:30	16:00	看護研究を行うための基本的な知識を身につける	(1)臨床看護研究の意義が理解できる (2)看護研究の全体像を知ることができる (3)クリニカルクエスチョンを言葉にすることができる (4)研究計画書の書き方を知ることができる	講義とディスカッション	院内講師 (修士課程修了者)	
	321-2	看護研究の実際		7月29日(水)	13:30	16:00	クリニカルクエスチョンをもとに研究テーマを考え、テーマにあった研究方法を検討する	(1)クリニカルクエスチョンを言葉にすることができる (2)リサーチクエスチョンを考えることができる (3)研究テーマに合った研究方法を考えることができる (4)文献検索の方法が理解できる	講義とディスカッション		
	321-3	看護研究のまとめ方		11月13日(金)	13:30	15:30	研究論文の書き方と研究発表方法について理解する	(1)論文の書き方のポイントが分かる (2)論文を書くイメージができる (3)研究発表の意義と方法を理解できる (4)効果的なプレゼンテーションについて考えることができる	講義とディスカッション		
	321-4	看護研究 発表会※3		令和3年 1月27日(水)	17:00	18:30	自身の研究成果を発表し、効果的な発表方法について考える	(1)研究発表することができる (2)他者の研究に対して感じたことを発言し、共有できる (3)他者の研究発表をピアレビューできる	発表とディスカッション ★所属部署の学習会・カンファレンス等で研修の成果として必ず発表する		
プリセプター以外、 看護研究以外	331	看護実践研修 (1時間1ポイント)※4	レベルⅢ:全て プリセプター・看護研究以外の者 必須	【条件】 10ポイント以上取得すること			ラダーレベルⅢに到達するために必要な看護技術や知識を身につけ、所属部署での看護に活かす	【認定要件】①②③のいずれかを満たすもの ①教育計画のうち公開されている研修や選択研修から選択し受講する ②ラダーレベル到達目標に沿った内容の院外研修を受講する。出張、参加費補助等で受講した場合は院内で伝達講習を行う ③院内で開催される公開研修・必須研修等を受講する(詳細は「ポイントが自動で付与される研修」を参照)	【認定方法】 ①院内研修は研修企画・評価表を提出。 ②院外研修の場合は、所定の用紙に受講した研修の概要(案内チラシ等)と、伝達講習の報告を記載し、各部署の教育委員に提出。委員は所属長と共に確認し、認定する。ただし、休み・費用ともに自己負担で受講したものは、伝達講習は不要とする。 ③については主催者の受講者名簿により教育委員会が認定する		教育委員会 各所属長

【備考】

- ※1 看護研究研修では院内の研究アドバイザーが論文作成支援を行う。業務と両立している都合上、受講者定員を15名とする。定員を超えた場合は各部署1名程度に調整を行う。ただし、部署内で研究指導を担える人材が確保できる場合は応相談。看護研究の研修は全9回の研修すべてに出席することを原則とする。やむを得ない事情があり事前に欠席の連絡があった場合は、課題提出等で読み替えるなど対応する。ただし、No.321-9「研究発表会」と各部署での発表は必須。
- ※2 研修No.321-9「研究発表会」は研修の一環として開催する。加えて、所属部署への研修成果報告として、年度内に各部署の学習会等で必ず発表することを義務付ける。
- ※3 研修No.331で院外研修を選択する場合は、年度初めに参加予定の研修を挙げ、レベルⅢ到達目標に沿っているかを所属長または教育委員に確認すること。また、研修履歴をCWSIに入力する。

【看護実践研修】

※日程は開催2か月前までに決定してお知らせします。

分類	研修番号	研修名	受講要件	開催日程	開始	終了	研修のねらい	到達目標	主な研修内容	講師	担当
看護技術・実践研修	801	急変時の看護(フィジカルアセスメント編)(2ポイント)	レベルⅡ以上選択	9月7日(月) 9月29日(火) 同じ内容で2回開催	17:30	19:00	患者の状態を迅速に理解するために必要なフィジカルアセスメントスキルについて学ぶ	(1)急変時の観察ポイントが理解できる (2)急変時の報告の仕方が理解できる	急変時の観察・評価の基礎知識に関する講義	集中ケア認定看護師	教育委員会
	802	急変時の看護(対応・記録)(2ポイント)	レベルⅡ以上選択	10月5日(月) 10月13日(火) 同じ内容で2回開催	17:30	19:00	急変の予測、急変時の対応方法と記録方法を学ぶ	(1)急変が予測される状況がわかる (2)急変時の対応方法の基本がわかる (3)急変時の看護記録の書き方が理解できる	急変の予測、急変時の対応に関する講義・演習	救急看護認定看護師	
	803	人工呼吸器の取り扱い(2ポイント)	レベルⅡ以上選択	11月頃	17:30	18:45	人工呼吸器の取り扱いについて理解する	(1)人工呼吸器の準備方法について理解できる (2)人工呼吸器の点検ができる	人工呼吸器取り扱いに関する講義 実際の機器に触れてみる演習	臨床工学技士	臨床工学室 教育委員会
	804	除細動器の取り扱い(2ポイント)	レベルⅡ以上選択	12月頃	17:30	18:45	除細動器の取り扱いについて理解する	(1)除細動器の機能を理解できる (2)除細動器の使用方法がわかる	除細動器取り扱いに関する講義 実際の機器に触れてみる演習(シミュレーターを使用した除細動実施体験)	臨床工学技士	
	805	シミュレーション研修「急変時の家族対応」(定員20名)(2ポイント)	レベルⅢ以上選択 定員を超えたら抽選	11月24日(火) 12月7日(月) 同じ内容で2回開催	17:30	19:00	シミュレーション研修を通して、急変時の家族対応について考える	(1)急変時の家族対応について考えることができる (2)専門用語をわかりやすい言葉で説明することができる (3)家族の気持ちに配慮した看護を考えることができる	シミュレーション研修	iMSCインストラクター	教育委員会
組織役割遂行能力研修	811-1	リーダーシップレベルアップ研修【基礎編】(3ポイント)	レベルⅢ以上選択 2回出席し課題提出すること	9月30日(水)	13:30	16:30	日常の業務の中(病棟やチーム、看護の場面など)でリーダーシップをどう発揮するのかを再確認する レベルアップ研修【実践編】を受講するための基礎知識を身につける	(1)最新のリーダーシップに関する理論を学ぶ (2)自身のリーダーシップについて見直すことができる	リーダーシップを理解するための講義、グループワーク	外部講師 長野県看護大学	教育委員会
	811-2	リーダーシップレベルアップ研修【実践編】(2ポイント)		11月18日(水)	13:30	15:00	看護実践におけるリーダーシップについて理論と経験を統合し、より有効なリーダーシップについて考える	(1)現場でリーダーとしての自分の役割を認識できる (2)メンバーの特性に合わせたリーダーシップについて考えることができる (3)グループワークや講義を通して自身を振り返り、課題を見出せる	リーダーシップを発揮するために役立つ知識やスキルを学び実践に活かすための講義とグループワーク	外部講師 長野県看護大学	
	812-1	メンター研修1回目(5ポイント)	レベルⅢ～Ⅳメンター 研修に出席し1年間メンター役割を担うこと	6月22日(月)	17:30	18:30	レベルⅡ到達を目指すスタッフの育成に携わるための知識と心構えを得る	(1)メンターの役割が理解できる (2)担当するメンティの到達目標を理解し、説明できる (3)メンターとしての活動がイメージできる	当院の継続教育、ラダーレベルⅡ到達目標、メンターとしての心構え等に関する講義など	主任会2～3年目担当	主任会
	812-2	メンター研修2回目(5ポイント)		令和3年2月22日(月)	17:30	18:30	レベルⅡ到達を目指すスタッフの育成を通して、自分の成長や変化に気づく	(1)メンティの変化や成長を言葉にすることができる (2)メンター経験を通して自分の変化や成長を言葉にすることができる	メンター役割を通して、自分自身の成長や変化を確認するグループワーク		
キャリアデザイン	821	キャリアデザイン(1ポイント)	すべてのレベル選択	8月25日(火)	17:30	18:30	当院におけるジェネラリスト、スペシャリスト、看護管理者の役割について知り、今後の自分のキャリアをイメージする	(1)医療看護の現状と今後について理解できる (2)地域医療の中での当院の位置づけ、役割が理解できる (3)当院におけるジェネラリスト、スペシャリスト、看護管理者の役割を知ることができる (4)今後の自分のキャリアをイメージできる	自分のキャリアをイメージするための情報を得ることができる講義等	副看護部長	教育委員会
研究活動	831	研究実践(主研究者10ポイント 共同研究者5ポイント)	レベルⅢ以上選択	随時			主研究者または共同研究者として主体的に研究に取り組むことで、研究実践能力を向上させる	【認定要件】 主研究者となるか、主研究者を主に補佐する共同研究者として研究活動をおこなうこと。	【認定方法】 その経過を所属長に文書等で報告し、認定要件を満たしていることを確認する。		教育委員会
	832	研究発表(主研究者10ポイント)	レベルⅢ以上選択	随時			主研究者として主体的に取り組んだ研究成果を院外に発表することで看護の質向上に貢献する	【認定要件】 主研究者として実施した研究成果を、院外の学会等にて発表する。または論文を投稿して雑誌に掲載される。	【認定方法】 研究発表したことがわかる学会誌等の資料を所属長に提示し、認定要件を満たしていることを確認する。		
自主学习	841	e-ラーニング(1動画1ポイント)	レベルⅢ以上選択	上限なし			自身のキャリア開発のために必要な知識・技術を身につける	【認定要件】 ①ナーススキル動画講義を選択して受講し、受講後に所定の書式でレポートを作成し提出する。 ②JNAオンデマンド研修等の修了証が発行されるものを受講後、所定の書式でレポートを提出する。 ③Jラインに公開された院内研修を師長	【認定方法】 ①②所属部署の教育委員が視聴履歴または修了証とレポートを確認し押印、所属長がレポートを確認し押印して認定。 ③Jライン公開研修についてはレポートで認定する		教育委員会 各所属長

【備考】

- 定員数が指定されている研修は、受講希望者が定員を超えた場合、教育委員会で人数調整を行い受講者を決定する
- 年度初めに申し込んだ研修については、原則として必ず受講すること。やむを得ない理由で欠席せざるを得ない場合は、他の研修を追加選択することができる。

【専門コース】

※日程および内容は一部変更となる可能性があります。各専門コース開始時に配布されるプログラム等で確認してください。

分類	研修番号	研修名(付与ポイント)	受講要件	開催日程	開始	終了	研修のねらい/テーマ	到達目標	主な研修内容	講師	担当
がん看護	901	がん看護専門コース	レベルⅡ以上 全ての回を受講できる者	6～12月 第4月曜日			実践力とアセスメント力を身につける	がん患者の看護実践について学習したケア、支援を臨床で実践することができる	事例提示、グループワーク	専門・認定看護師	専門・認定看護師会 教育委員会
	901-1	第1回(2ポイント)	コース選択者 必須 【公開・単発受講可】	6月22日(月)	17:30	19:00	がんの腫瘍学と治療		講義	里見、渡辺ま、萩原	
	901-2	第2回(1ポイント)		7月27日(月)			がん化学療法法の基礎		講義	がん治療認定薬剤師(予定)	
	901-3	第3回(1ポイント)		8月24日(月)	17:30	18:30	がん治療のケーススタディ		グループワーク	里見、渡辺ま、萩原、吉田、伊藤	
	901-4	第4回(1ポイント)		10月26日(月)			がん患者の退院調整のケーススタディ		グループワーク		
	901-5	第5回(1ポイント)		12月28日(月)			がんの社会学(高齢化、認知症、慢性疾患としてのかかりなど)		講義とまとめ	吉田、伊藤	
患者・家族への退院指導	902	退院指導コース	レベルⅡ以上 全ての回を受講できる者	6～12月 第3木曜日			患者の特徴に合わせた退院指導について学ぶ	急性期病棟の機能を果たすため、退院後のトラブルや再入院を繰り返さないためのケアを学ぶことができる	講義・演習	認定看護師	専門・認定看護師会 教育委員会
	902-1	第1回(1ポイント)	コース選択者 必須 【公開・単発受講可】	6月18日(木)	17:30	18:30	地域で困っていること・訪問看護からのお願い	当院の退院支援に関する地域からの声 訪問看護での困りごと など	講義等	地域医療連携室 MSW、訪問看護師	
	902-2	第2回(1ポイント)		9月17日(木)			栄養管理(心不全、腎不全含む)	経口・経管栄養の食事 塩分コントロールや水分調整の必要性 など	講義等		
	902-3	第3回(1ポイント)		11月19日(木)			退院後の肺炎予防	誤嚥性肺炎について 肺炎予防のケア方法や家族への指導 など	講義等	専門認定看護師会	
	902-4	第4回(1ポイント)		令和3年1月21日(木)			転倒予防と骨折、頭部外傷について	転倒や頭部打撲の予防と対応 慢性硬膜下血腫と認知機能低下 など	講義等		
看護師教育支援コース	903	教育支援コース	レベルⅢ以上 全ての回を受講できるもの	7～11月 第1金曜日			より効果的な教育ができるよう教育スキルについて学ぶ	看護職の継続教育について知り、学習者の特徴を理解し、より効果的な教育について考えることができる	講義・演習	看護部教育担当専従看護師	教育委員会
	903-1	第1回(1ポイント)	コース選択者 必須 【公開・単発受講可】	7月3日(金)	17:30	18:30	ファシリテーター型指導者というあり方	指導者としてのあり方について考えることができる	講義・ディスカッション	教育専従 ※講師が追加となる可能性あり(調整中)	
	903-2	第2回(1ポイント)		8月7日(金)			教育の3要素(きく・みる・つたえる)	教育の3要素(きく・みる・つたえる)を理解できる	講義・ディスカッション		
	903-3	第3回(1ポイント)		9月4日(金)			成人学習/経験学習	看護職教育の対象者である「おとな」の学びについて理解できる	講義・ディスカッション		
	903-4	第4回(1ポイント)		10月2日(金)			コーチング	コーチングの概念と具体的なポイントを理解することができる	講義・ディスカッション		
	903-5	第5回(1ポイント)		11月6日(金)			集合研修企画に役立つアクティブラーニング	アクティブラーニングを活用した研修を企画するためのヒントを得ることができる	講義・ディスカッション		

【備考】

- コース選択をする場合は、原則としてコース内すべての研修に参加すること。全ての回に出席した場合は、各回のポイントに加えてコース終了後に+1ポイント加算される。
- すべての研修は【公開】のため、単発での参加が可能でポイントも取得できる。単発参加を希望する場合は、研修1週間前までに各部署の教育委員に申し出る。

9. ポイントが自動で付与される研修

分類	研修番号	研修名	受講要件	開催日程	開始	終了	研修のねらい	到達目標	主な研修内容	講師	担当
	1001	教育委員会主催ではない院内研修 (1時間1ポイント)	全てのレベル ポイント自動付与	随時			目指すラダーレベル到達のために 必要な知識・技術を習得する	【認定要件】 院内で開催される研修会のうち、主催者が受講者名簿 を作成している研修。教育委員会でポイント付与対象と 判断したもの。各部署の学習会も含む。	【認定方法】 教育委員会が主催者から受講者名簿 を取得し、院内研修としてCWSに入力 する。		教育委員会

- 年度初めに教育委員会で把握している研修については、事前に予告する予定。ただし、開催後であってもポイント付与対象と判断すれば、予告なくポイント付与する場合もある。
○ 主催者または受講者からの申し出があれば、随時ポイント付与対象かどうかの判断をしていく。ポイント付与対象として欲しい研修があれば、部署の教育委員に申し出る。

【対象となる研修の例】

- 1) 各部署で開催する学習会
・三者主催の公開学習会
・部署内の学習会

- 2) 院内で開催される全職員を対象とする研修

- ・診療報酬改定に関する研修会
- ・医療ガス安全研修会
- ・感染対策研修会(年2回)
- ・医療安全研修会(年2回)
- ・学術研究会(年2回)
- ・認知症ケア研修会
- ・倫理講演会
- ・褥瘡対策講演会または研修会
- ・災害拠点病院訓練
- ・医療教育講演
- ・NST講演会
- ・輸血研修会
- ・放射線安全講習会
- ・救急関連の研修会(ICLSなど)
- ・パス大会(年2回)

- 3) 看護部主催の研修会

- ・看護必要度研修
- ・接遇研修
- ・看護管理者対象研修

- 4) 他部門主催の研修会

- ・地域連携塾
- ・臨床検査に関する研修会
- ・薬剤に関する研修会
- ・医療機器に関する研修会
- ・リハビリテーションに関する研修会
- ・放射線に関する研修会

- 5) 院内のチーム主催の研修(チームメンバーのみを対象としたものでも可)

- ・PCPSシミュレーション
- ・KIDUKIコース
- ・災害対策研修
- ・排尿ケアチーム研修
- ・メディカルフットケアチーム研修会
- ・上伊那糖尿病療養指導士育成研修
- ・緩和ケア研修会
- ・ELENEC研修会

前年度までの実績を参考に記載。

研修内容が看護師の自己研鑽としてふさわしいものであれば、随時認定していく。

研修目的(できれば到達目標)が明確に示されていることが望ましい。当院を会場として、主催者や企画運営者に当院職員がいる研修会を対象とする予定(認定には受講者名簿が必要なため)。